

## 『高齢者のための高血圧診療』

お詫びと訂正

(2020.12)

『高齢者のための高血圧診療』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このたび編集部の確認が至らず、標記図書の一部に事実と異なる表記があり、それをもとに一部論旨が展開されておりました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

### ●訂正箇所

- ・ p.185 下から 14 行目以降の箇所を「削除」

磯野さんと僕は何回か一緒に仕事をしていて、あの本の中で、日本プライマリ・ケア連合学会学術大会で HPV ワクチンのシンポジウムに行くと書いてありましたが、僕も参加していたのです。その前段階で、プライマリ・ケア連合学会に「HPV ワクチンを推進すべき」というワクチン・ワーキンググループがあって僕もメンバーでして、2018 年 12 月に声明（積極的勧奨の再開）を出して厚労省に要望書を提出したのですが、当初は理事会で却下されたのです。「あんなに副作用で苦しんでいる人たちがいるのに…」みたいな話だったと思います。却下されたと聞いて僕は憤慨し、「理事の方たちが、そんなに不勉強ではいけません」と、もう 1 回差し戻しとなったのです。そのとき非医療者の代表として磯野さんが招かれて、スカイプとかで何回か議論したのを覚えています。もちろん彼女の本はあらかじめ読んでいます。

宮野さんについては、病の渦中にいた方なので何もいわないですが、磯野さんについていうと、

- ・ p.187 下から 13 行目以降の箇所を「削除」

岩田 HPV ワクチンの議論のときも、磯野さんは「結局ワクチンの効果がどうのこうという話もありますが、効果だけでこの話をしていいのか…」となってしまっ、僕は「効果のある・なしで語るべき」と言い続けた経緯があり、そのとき結構もめたんです(笑)。でも少なくとも「効果がある・なし」のところでしっかり論じなければ、この議論は先に行けません。その問題と副作用で苦しむ人のお話は、また別の問題として議論すべきだと思います。

以上